

令和 8 年度岩手県立杜陵高等学校奥州校 第 1 回学校運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和 8 年 6 月 29 日（月）13:30～15:30
- 2 開催場所 奥州校定時制校舎会議室
- 3 出席者 郊外委員 9 名、校長、定時制副校長、通信制副校長 以上12名

記録：黒澤【通】 受付：小原、阿部【定】

4 ワールドカフェ（生徒と委員の意見交換）

101 教室へ移動し、ワールドカフェ形式の意見交換会を実施。委員 9 名と定時制生徒 12 名が 4 つのグループに分かれ、「地域と奥州校がより輝き続けるには」というテーマのもと意見交換を行った。地域との交流を生み出すために、祭りやイベントの企画、ボランティア活動への積極的参加、普段からお互いにコミュニケーションをとりながら地域とのつながりをもちながら、伝統行事へ加わり、地域とのかかわりを持つことが必要等の意見交換がなされ、大変充実した時間を過ごすことができた。

5 校長挨拶

先ほどのワールドカフェは、生徒にとって、保護者や先生ともまた違った別の大人の観点から交流できたこと、意見を交わせたことは大変すばらしい経験になったことと思う。運営協議会委員のみなさまには、日頃より学校へ対する多大なるご協力に感謝申し上げたい。生徒数が減少している昨今の状況においても、奥州校の生徒数は増加または横ばいで推移している。コミュニティ・スクールの仕組み説明 地域の声に耳を傾け、学校運営に活かせる部分は活かしていきたいと考えている。昨年度の第 2 回協議会で実施したワールドカフェが好評だったため、今年度継続してみた。行ってみての感想等いただければ。今後も、求められる学校であるように努めていきたいと思っている。

6 学校運営協議会の概要説明（資料 1～資料 6 に基づき定時制副校長が説明）

生徒一人一人が輝くことができる場を促進する活動を継続してまいりたい。

7 学校概況説明（資料に沿い定時制・通信制各副校長が説明）

定時制

秋田県立大学と青森公立大学へ一般入試で合格

高総体で各種目での活躍が見られた。

通信制

働きながら学びなおしをしたい、20 代の 3 名が入学した。彼らより若い生徒たちが刺激を受けてもらえるとうれしい。

在籍は 171 名で、履修登録している生徒が 103 名となっている。

進路の内訳で、その他が 16 名となっている。卒業第一と考えている生徒が通信制には例年半数程度存在する。

8 協議

（1）令和 8 年度学校運営計画について（校長より）

令和 7 年度とほとんど変わっていない。変更点は 4（2）カを追加した点で、（ア）～（ウ）を柱立てた。

令和 10 年度移転と新聞発表があったが、過日、定通の副校長、事務方、県教委で移転先を視察したが、移転に当たり、リノベーションが必要ではという話になっている。ここに学びの多様化学校も一気に移転となりますと大変さが増すと思われる。令和 10 年度に

すべてということだけではなく、多少後ろ倒しになる可能性もある。

今回の移転に難色を示している奥州市民の声も聞かれるが、これを 100 年に 1 度の契機と前向きにとらえ、県南の単位制拠点校として育てていきたいと考えている。(ウ)について、採択校が 30 日昼に発表になる予定です。仮に 1 回で通らない場合、文科省からアドバイスをいただきながら、再チャレンジもあり得ると考えている。

今回お示している奥州校の経営計画は、昨年度の方針に、県との共同による「次の百年」に向けた地域社会から必要とされる新しい学校づくりへの取組を加えた。⇒承認

(2) 杜陵高校奥州校スクールポリシーについて

本校とは別仕様となっています。見ていただき、この場で承認していただければ。昨年度のものの変更はない。学校運営計画を中学生も分かりやすいようにアレンジしたものであるのもので、各種説明会でも活用していきたいと思っている。⇒承認

(3) その他

事務局より議題はなし

●各参加委員より

< A 委員 >

協議会に出席したのは初めてでしたが、いろいろなバックグラウンドを持った人がいる場を息子はすごく楽しんでいるようである。多様な生徒を受け入れている学校に感謝している。

< B 委員 >

ワールドカフェでの意見のような、学生からでた希望を少しでも叶えてあげたいと感じた。居心地がいいと感じるような、地域の拠点となる場を地域としても支えていきたい。

< C 委員 >

ワールドカフェは楽しいひと時だった。生徒から出てきた希望の一つでも叶えてあげられたらと感じた。生徒の主体性を伸ばすきっかけにもなり得ると思う。金ヶ崎に移転したとして、地域という概念を、きちんと定義づけしていく必要があると考えている。

< D 委員 >

ワールドカフェは楽しく、時間が短かった。徹底的にやるなら、もっと時間を取るのもありかと思う。協議会のメンバーをいろいろな所で活用してほしい。例えば、生徒の就職面接等の練習にでもいいので。手当等なくても、ここにいる方々は来てくれると思うので。遠慮せずをお願いしてほしい。

< E 委員 >

自分自身平成から令和へ変わる時代に通信制高校を卒業し、通信制大学でも勉強をした。生徒の発想に感銘を受けた。これが考える力なのだと感じた。生徒の頑張りを少しでもサポートしたいと思う。

< F 委員 >

中学校から送り出す方からすると、人数が少ない方がいい、あるいは控えめな生徒だった印象があった生徒たちが、今日は、自分が思っていること考えていることを自信を持って話している姿を見ることができうれしく思う。定時制は生徒が少ない中、ひとりひとりが先生方に親身になって向かい合っているということばが印象的だった。

< G 委員 >

新しい学校を目指すうえでの人員配置等についてはどのようにお考えなのか。

< 校長 >

予算の用途に「人件費を含む」も含まれている。SSW や SC、支援員等必要とされているものを要望として聞き入れながら、考えていきたい。効果が上がり、生徒にも先生方にも負担が掛からないようにするにはどうしたらいいか、アイデアがあれば教えていただければ。

< G 委員 >

自分自身の経験を活かせればと思うし、生きがいを持って生徒が過ごせるようにサポートしていければと思っている。生徒は自分の可能性を信じて、入学してきている。どうぞ、私たちを大いに活用してほしい。

< H 委員 >

ボランティアとして子ども食堂や親子の居場所を運営している。定時制の生徒が親子の居場所を手伝ってくれて、卒業後も顔を出してくれている。興味がある生徒がいれば、是非見てみいただきたい。もし、子ども食堂に関心があれば、ご連絡いただきたい。

< I 委員 >

ワールドカフェで出されたもののうち、一つでも叶えてあげられたらと感じた。移転に際しては、金ヶ崎町民との接点、結びつきが重要になってくると思う。今のうちから接点づくりが必要だと思う。地域の高校だと言われる努力を今から始めていただきたい。

9 その他

⇒ 資料のとおり（次回案内）

10 所感

とても和やかな雰囲気では会議が進み、その中で有意義なご意見を多数頂戴した。委員のみなさまより、杜陵高校奥州校と地域を盛り上げていきたいという意気込みが強く伝わった。頂戴したご意見を今後の学校運営に活かしていきたい。